

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市真鍋島4093
協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
協議会長名	会長 川辺 昭政

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 46 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 471,682 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
725,000	471,682		253,318

2 交付金が減額変更になった理由

経費削減により予定より支出が少なかった為と、コロナの影響で思うように活動ができなかった為。物品の値上がりも影響した為。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	山道散策と観光地を促進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 1 年目）

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 2 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団体： （団体名）
 （団体名）

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であるため清掃。

6 決算額

186,124 円（うち交付金分 186,124 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	観光協会のメンバーが前もって道標となる草刈りをしていたので、スムーズに草刈りをする事ができた。観光客の評判も良かった。
【課題】	老木の倒れているのが年々多くなっている。（特に松の木）Uターン者の協力を得、処理する事によって景観も良くなると思う。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 377,000	186,124	190,876	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	377,000	186,124	190,876	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	310,000	134,000	176,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	65,000	52,124	12,876	〃
役務費	2,000	0	2,000	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	377,000	186,124	190,876	決算額のうち市交付金分 ② 186,124

市交付金の余剰金 ①-② 190,876 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 190,876 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	山道の整備・保全事業
費目	報償費
No.	1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	10	26	参加者 3名	山道整備報償費	15,000	15,000
2	5	3	28	参加者 1名	山道整備報償費	119,000	134,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						134,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 山道の整備・保全事業

費目 需用費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘要	支出額	支出累計
1	4	9	5	海上タクシー 幸進丸	草刈り機メンテ一式	3,100	3,100
2	5	2	17	榎田農機商会	替刃	20,350	23,450
3	5	3	19	ホリデイ	2サイクルガソリン, 刃	24,354	47,804
4	5	3	27	海上タクシー 幸進丸	お茶	4,320	52,124
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小計						52,124	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	山道の整備・保全事業

活動目的	山道散策と観光地を促進。
実施内容	島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であるため清掃。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 観光協会のメンバーが前もって道標となる草刈りをしていたので、スムーズに草刈りをする事ができた。観光客の評判も良かった。	現状と課題 老木の倒れているのが年々多くなっている。(特に松の木) Uターン者の協力を得、処理する事によって景観も良くなると思う。
---	---

今後の活動の方向性・改善策

メンバー構成の検討。(固定した人の確保)

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定促進プロジェクト
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続の危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
【効果】	子育て世帯の定住を促進することによって両問題の解消を図るとともに、マンパワーの増強によって地域づくりの新たな一手につばがることが期待できる。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 10 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 人（イ）
 ○団体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

島外に対し定住プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供する。

6 決算額

8,558 円（うち交付金分 8,558 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	コロナ禍での活動は非常に今年度も厳しく思うようにはできなかったが、メールでの問い合わせはあった。
【課題】	リーフレットの配布が今年度もできなかったが、広く、県外にも配布できるようにしていきたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定促進プロジェクト

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 71,000	8,558	62,442	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	71,000	8,558	62,442	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	30,000	0	30,000	〃
需用費	8,000	0	8,000	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		8,558	△ 8,558	〃
備品購入費		0	0	〃
宿泊費	33,000	0	33,000	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	71,000	8,558	62,442	決算額のうち市交付金分 ② 8,558

市交付金の余剰金 ①－② 62,442 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 62,442 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島定促進プロジェクト

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	13	立替支払者	サーバーレンタル料	8,558	8,558
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						8,558	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島定促進プロジェクト

活動目的	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続の危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
実施内容	島外に対し定住プロジェクトの周知を図りつつ、1ターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	1
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	1
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	1
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	1
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	1
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	1
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	1
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	1
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 コロナ禍での活動は非常に今年度も厳しく思うようにはできなかったが、メールでの問い合わせはあった。	現状と課題 リーフレットの配布が今年度もできなかったが、広く、県外にも配布できるようにしていきたい。
--	--

今後の活動の方向性・改善策

活動の制限が少しずつ緩和されていくとともに、島のこれからを考えていく上で島内に限らず、島外の人ともつながる活動を増やしたい。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業－真鍋島にあった!!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅－
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島全体に歴史・文化・町並み・自然などの島特有の風土とアートが体験できる歩くルートを整備し、島の一年間の祭や行事などの歳事に対応したプランも提供して、真鍋島古来の生活が体験できる「島旅」をガイドと共に巡り、島民が主体的に行う本活動を通じて人の流れと経済の流れをつくり、観光客への「おもてなし」としながら交流人口・関係人口の醸成を目的とする。
【効果】	ルートを整備する事で、観光客の滞在時間・日数の増加となり、観光事業に関わる運送業・宿泊業・飲食業への波及効果が絶大となる。さらに道西喜代吉氏画集に残された貴重な近代史料と、その時代を知る島の古老たちの語りを集約しルートマップに見える化する事が真鍋島固有の広報活動となり、次代の島づくりビジョンの柱となる観光事業による経済波及効果が期待できる。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 3 年中 1 年目）

3 実施場所

笠岡諸島真鍋島全域

4 活動に関わった人数・団体

○総人数：416 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数：51 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）：365 人（イ）
 ○団体：（団体名） 真鍋島まちづくり連絡協議会、（団体名） 真鍋島歴史文化研究会
（団体名） 真鍋島公民館、（団体名） 真鍋島観光協会

5 実施内容

道西喜代吉氏画集展覧会を2022年10月に真鍋島岩坪地区、本浦地区の2ヶ所で開催(14日間)

6 決算額

277,000 円（うち交付金分 277,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	道西喜代吉氏画集展覧会を2022年10月に真鍋島岩坪地区、本浦地区の2ヶ所で開催し14日間で市内外から365名の来場者があり、山陽新聞 2022/9/30 10/9 読売新聞 2022/10/1の新聞記事の掲載があった。展示受付として島民のべ28名、郷土料理調理人として4名の参加があり、真鍋島公民館、真鍋島まちづくり連絡協議会、真鍋島観光協会、真鍋島栄養委員会の協働と笠岡市教育委員会生涯学習課、岡山商科大学の協力及び福武財団、本交付金の助成によって成功裡に終了した。
【課題】	次の展開として、観光分野への応用、学術的追究、文化財としての価値の深化等、道西喜代吉氏画集の持つポテンシャルを最大限引き出し、地域の活性化につなげる。それらを具現化するためには、展覧会記録の活動報告書の作成（今年度作成）、観光ルート（真鍋島フットパス事業）造成、情報集約・発信のためのWebサイト作成、外部研究者との協働による論文執筆・学会発表、文化財登録申請、さらに本事業の遂行を可能とする多領域による協働体制づくりが課題となる。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業－真鍋島にあった!!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 277,000	277,000	0	当該年度分
その他収入	450,000	0	450,000	
公益財団法人福武財団	450,000		450,000	
			0	
			0	
計	727,000	277,000	450,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	106,000	78,000	28,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	611,000	181,340	429,660	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	10,000	17,660	△ 7,660	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	727,000	277,000	450,000	決算額のうち市交付金分 ② <u>277,000</u>

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島フットパス事業-真鍋島にあった!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅-

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	10	2	受付スタッフ	展覧会受付	2,000	2,000
2	4	10	2	受付スタッフ	展覧会受付	2,000	4,000
3	4	10	5	受付スタッフ	展覧会受付	2,000	6,000
4	4	10	9	受付スタッフ	展覧会受付	2,000	8,000
5	4	10	10	受付スタッフ	展覧会受付	8,000	16,000
6	4	10	15	調理スタッフ	展覧会調理	2,000	18,000
7	4	10	15	受付スタッフ	展覧会受付	6,000	24,000
8	4	10	16	受付スタッフ	展覧会受付	4,000	28,000
9	4	10	16	受付スタッフ	展覧会受付	4,000	32,000
10	4	10	22	受付スタッフ	展覧会受付	2,000	34,000
11	4	10	29	調理スタッフ	展覧会調理	6,000	40,000
12	4	10	29	調理スタッフ	展覧会調理	6,000	46,000
13	4	10	29	調理スタッフ	展覧会調理	8,000	54,000
14	4	10	29	調理スタッフ	展覧会調理	8,000	62,000
15	4	10	29	調理スタッフ	展覧会調理	2,000	64,000
16	4	10	29	受付スタッフ	展覧会受付	4,000	68,000
17	4	10	29	受付スタッフ	展覧会受付	4,000	72,000
18	4	10	30	受付スタッフ	展覧会受付	6,000	78,000
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						78,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島フットバス事業-真鍋島にあった!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅-

費目 **需用費** **消耗品費**

No. **1** **↑ドロップダウンリスト
から選んでください。**

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	9	20	パネルデポ	のり付きパネル(7mm A3サイズ)	36,000	36,000
2	4	9	28	株式会社グラフィック	A4チラシ (1,000枚)	3,850	39,850
3	4	9	28	〃	B2ポスター (50枚)	11,840	51,690
4	4	9	28	コーナン	ノリ (2個)	632	52,322
5	5	3	17	Amazon	液体ノリ (3個)	300	52,622
6	5	3	17	〃	インクタンク (3個セット)	6,718	59,340
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						59,340	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島フットバス事業-真鍋島にあった!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅-

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	22	タイラーデザイン事務所	製本費	122,000	122,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						122,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島フットバス事業-真鍋島にあった!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅-

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	10	7	岩坪会館	会館使用料	4,200	4,200
2	4	10	25	中国電力	電気	245	4,445
3	4	11	15	〃	〃	3,260	7,705
4	4	10	25	笠岡市	水道	2,970	10,675
5	4	11	15	〃	〃	6,985	17,660
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						17,660	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島フットパス事業－真鍋島にあった!!こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅-

活動目的	真鍋島全体に歴史・文化・町並み・自然などの島特有の風土とアートが体験できる歩くルートを整備し、島の一年間の祭や行事などの歳事に対応したプランも提供して、真鍋島古来の生活が体験できる「島旅」をガイドと共に巡り、島民が主体的に行う本活動を通じて人の流れと経済の流れをつくり、観光客への「おもてなし」としながら交流人口・関係人口の醸成を目的とする。
実施内容	道西喜代吉氏画集展覧会を2022年10月に真鍋島岩坪地区、本浦地区の2ヶ所で開催(14日間)

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 道西喜代吉氏画集展覧会を2022年10月に真鍋島岩坪地区、本浦地区の2ヶ所で開催し14日間で市内外から365名の来場者があり、山陽新聞 2022/9/30 10/9 読売新聞 2022/10/1の新聞記事の掲載があった。展示受付として島民のべ28名、郷土料理調理人として4名の参加があり、真鍋島公民館、真鍋島まちづくり連絡協議会、真鍋島観光協会、真鍋島栄養委員会の協働と笠岡市教育委員会生涯学習課、岡山商科大学の協力及び福武財団、本交付金の助成によって成功裡に終了した。	現状と課題 次の展開として、観光分野への応用、学術的追究、文化財としての価値の深化等、道西喜代吉氏画集の持つポテンシャルを最大限引き出し、地域の活性化につなげる。それらを実現化するためには、展覧会記録の活動報告書の作成(今年度作成)、観光ルート(真鍋島フットパス事業)造成、情報集約・発信のためのWebサイト作成、外部研究者との協働による論文執筆・学会発表、文化財登録申請、さらに本事業の遂行を可能とする多領域による協働体制づくりが課題となる。
---	--

今後の活動の方向性・改善策

本事業の情報を紙媒体のチラシとポスターで周知し、新聞記事の掲載が3回あったことで、想定以上の参加者がありましたが、今後さらに事業を展開し、地域住民や島出身者、来訪者などがつながっていくためには、WebサイトやSNSなどでの情報発信・受信によるネットワークづくりが必要だと痛感しました。今回の事業の成果物となる展覧会記録の活動報告書の島内全戸配布、その報告書データを活用した島内を巡る歩くルートづくり、笠岡市陸地部での新たな展覧会の企画、皆さんが一同に話し合える場づくり、協働して事業を進める体制づくりが肝要となります。